



CREATE HOPE in the WORLD

ROTEXが繋ぐ平和・希望の輪
～とどけ、世界の子どもたちへ～



2022.FEB RUSSIAN INVASION OF UKRAINE



ROTEXが繋ぐ平和・希望の輪
～つなぐ、3つのストーリー～

- **Ukraine Kids Med Care Project**
 - **Iloha's Story**
 - **Yuina Project**



UKRAINE KIDS MED CARE PROJECT

1_Ukraine Kids Med Care Project

HENRYK KALINOWSKI

ポーランド、ブロツワフRC

HENRYK KALINOWSKI さん

→プロジェクトを始めた日本派遣のROTEX

ヴロツワフ地方に滞在する約数十万人の避難民のうち、
特に慢性疾患に苦しむ子どもたちとその母親への医療支援。

(ウクライナ語でのホットラインの設置なども)



1_Ukraine Kids Med Care Project

派遣学生時代



2003年度 大阪府立吹田東高等学校(3学年) 2003.4.10

2_Iloha's Volunerring Story

右近いろは

大阪 Y M C A 学院高校 3 年生（当時）
学校で募金運動を始める。

「どうしても行くねん、行かなあかんねん・・・」と
ポーランドに行って避難する子どもたちの力になりたいと
考えていた時、同級生のお父さんが、ヘンリック友人と
分かり、ポーランドに渡った。

2023-24年度 D2660 大阪 RC がスポンサーとして
ポーランドに派遣される予定。



3_Yuina Project

藤井ゆいな

前橋市立荒砥中学3年生。
ウクライナの子供たちを元気付けようと、
学年全員で励ましのメッセージを送る、
「ゆいなプロジェクト」を先生と相談して立ちあげる。
まわりの大人達の繋がり、東京北Exchange、
ポーランドのヘンリックにたどり着いた。



FIRST MESSAGE

1. 平和を作るきっかけは誰もが持っている
2. 学ぶこと、行動することで自分自身を変え、
周りに良い影響を与えられる
3. 青少年交換プログラムは平和促進に大きく貢献している



第一部

Iloha's Story



ILOHA'S STORY IN POLAND



出発前



支援物資を求め列をつくる人々↓

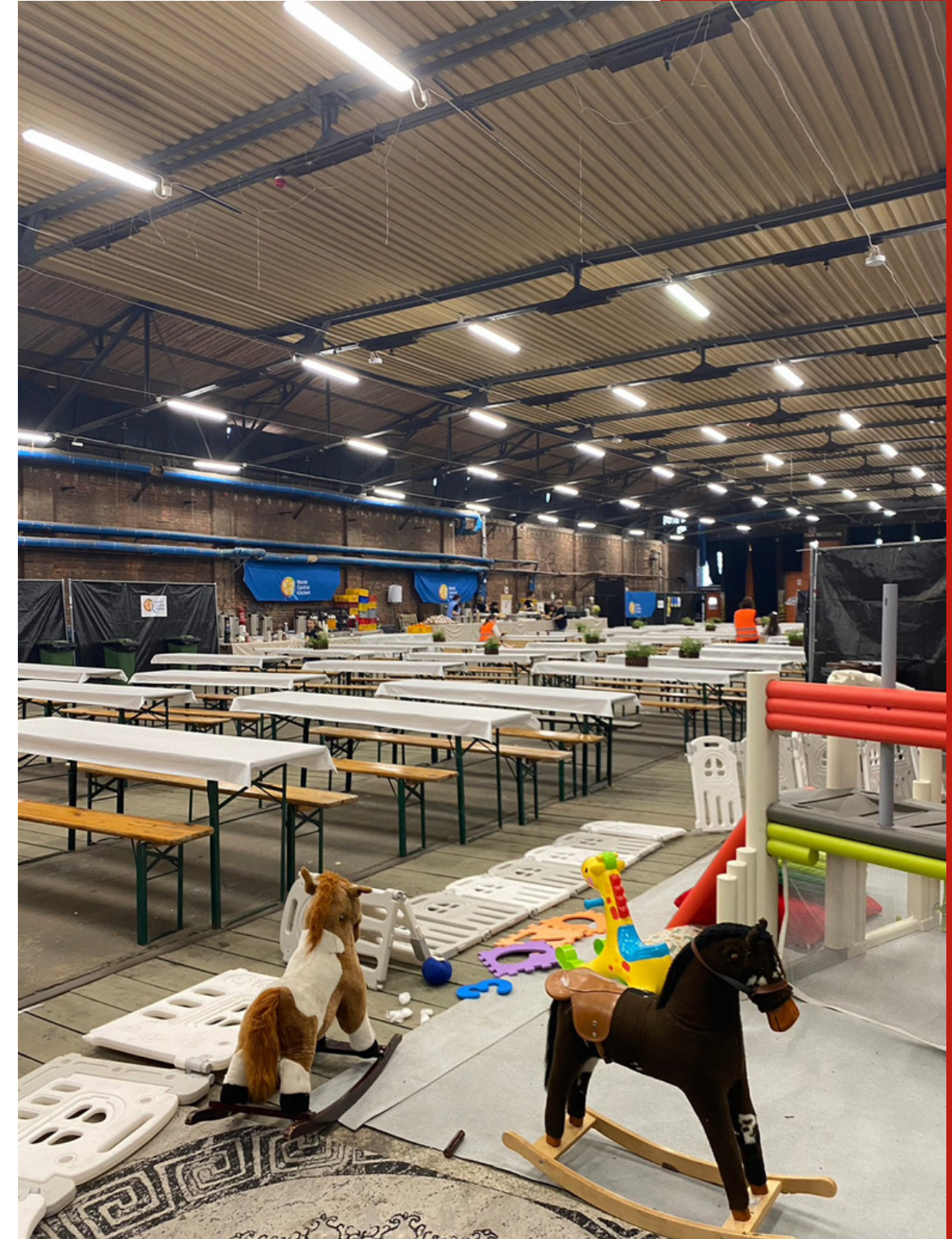


↑ 路線奥のシェルター

洋服や日用品（シェルターの一部）



プレイグラウンドの様子



日本文化を楽しむ様子



募金から購入し、届けたプレゼント



いろはさんと子供たち



ボランティアの仲間と



日本文化体験会を 開催



在日ポーランド大使館を訪問（6月6日）



ポーランドの全国放送に出演



[HTTPS://DZIENDOBRY.TVN.PL/RAZEM-Z-UKRAINA/WOJNA-W-UKRAINIE-17-LETNIA-JAPONKA-POMAGA-UCHODZCOM-WE-WROCLAWIU-5736587](https://dziendobry.tvn.pl/razem-z-ukraina/wojna-w-ukrainie-17-letnia-japonka-pomaga-uchodzcom-we-wroclawiu-5736587)



Iloha's Story

将来のビジョン



第二部

Yuina Project



WHAT IS HAPPENING IN UKRAINE

RESTRICTIONS FOR MEN AGED 18-60
18～60歳の男性の出国制限



SIRENS AND AIR RAIDS
突然のサイレンや空襲



EVACUATION LIFE UNDERGROUND
地下での避難生活



SHORTAGE OF MEDICAL SUPPLIES IN POLAND

- ・物資、情報不足
- ・郊外に地雷の設置など

60% OF REFUGEES IS CHILDREN
難民の半数以上が子供



EXPLOSION PEDIATRIC WARD
小児病棟爆発



SHORTAGE OF MEDICAL SUPPLIES IN POLAND
インスリン不足



戦争から逃れてきた子どもたちが、インスリンの不足で入院を余儀なくされ、
私たちのところにやってくるのです。

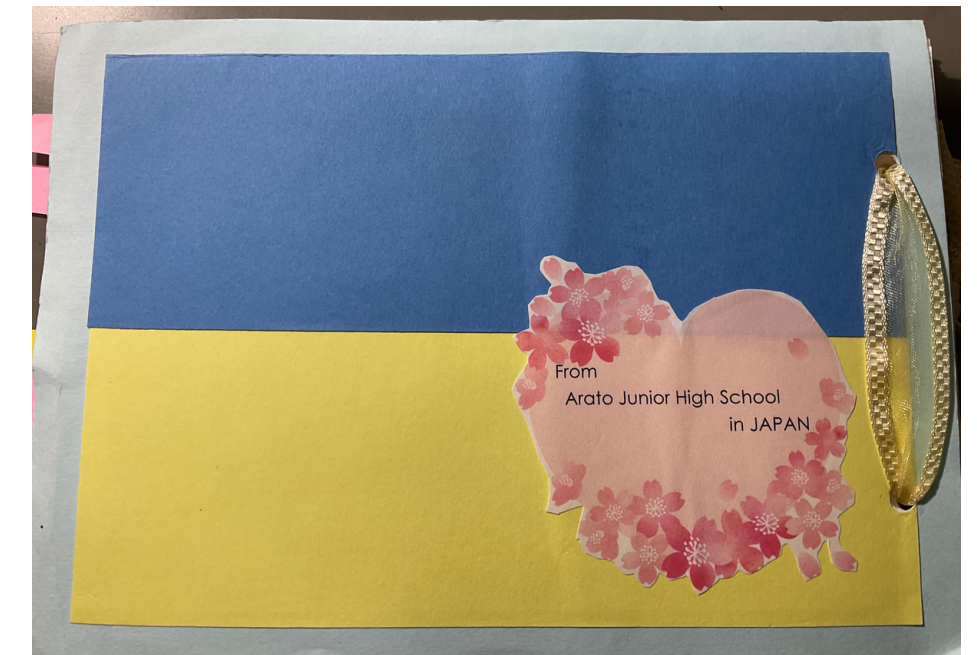
IN CENTER OF KIEV
キエフ中心 (10月10日)



LETTERS PROJECTS IN GUNMA

群馬県前橋市の中学生たち

LETTERS ウクライナの子供たちへの手紙



A THOUSANDS OF PAPER CRANE PROJECTS

ポーランドの子どもたちの
平和学習

SASAKI SADAKO
佐々木禎子



IN HIROSHIMA, 5 YEARS AGO
6年前、広島で



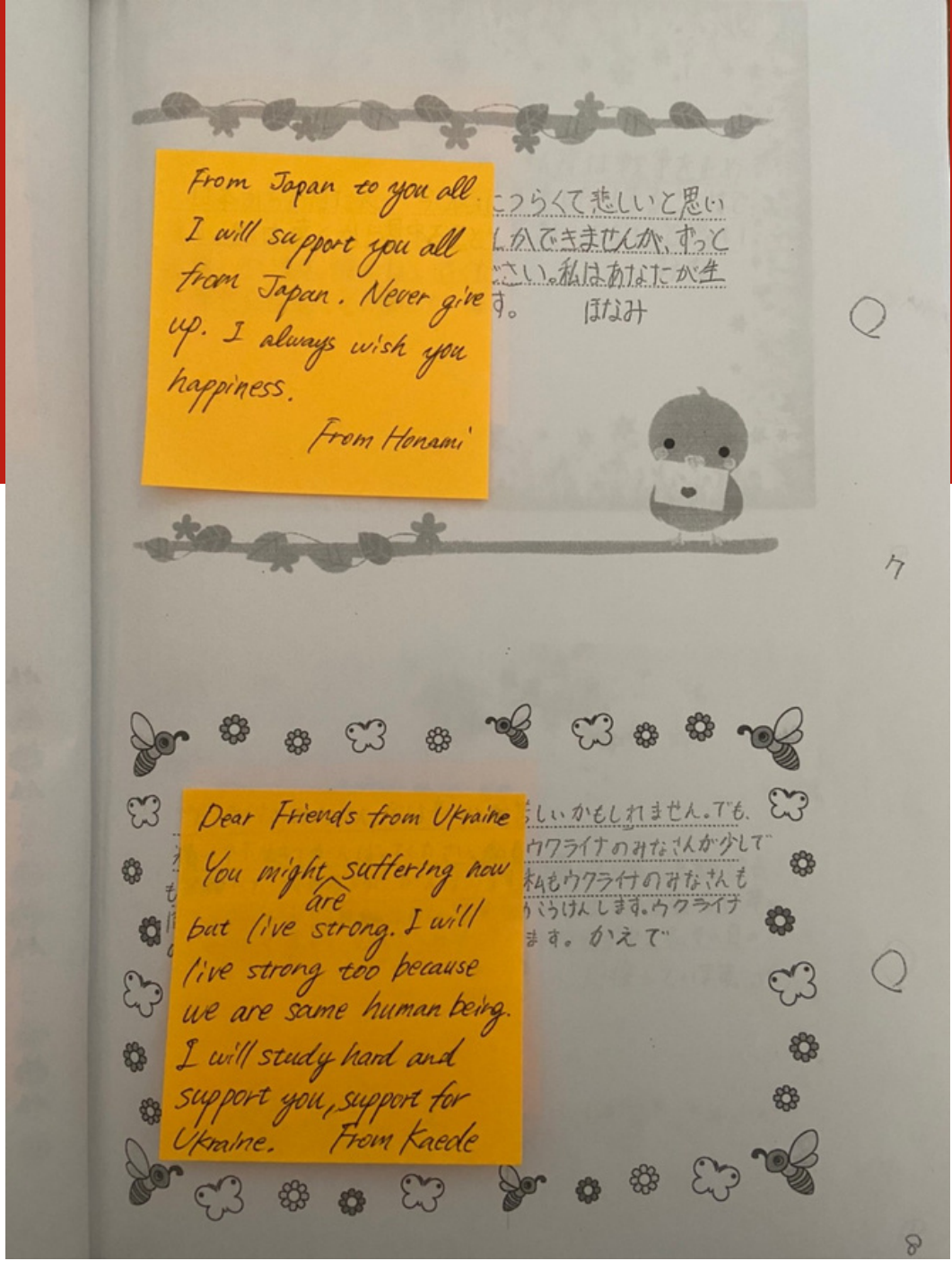
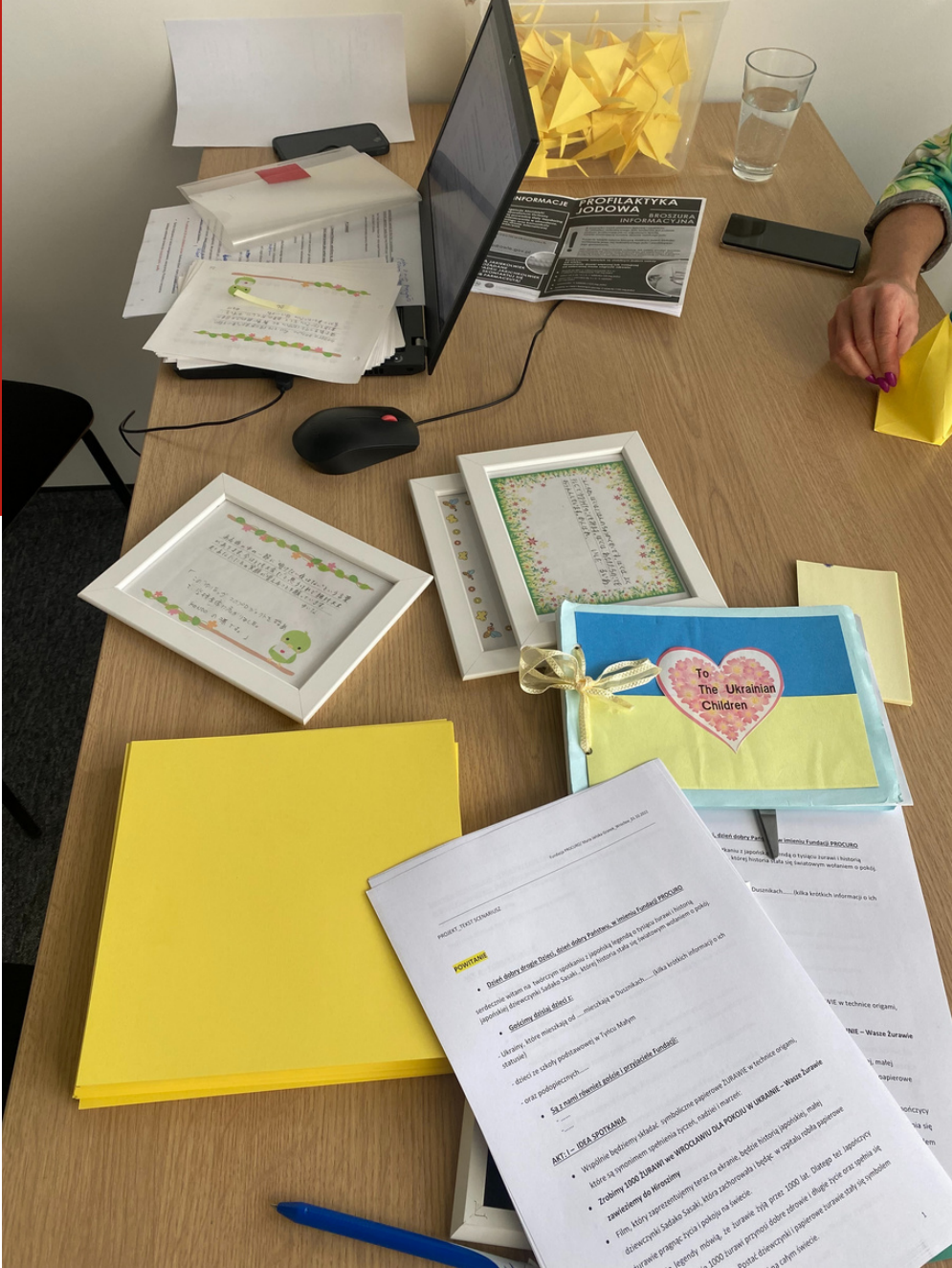




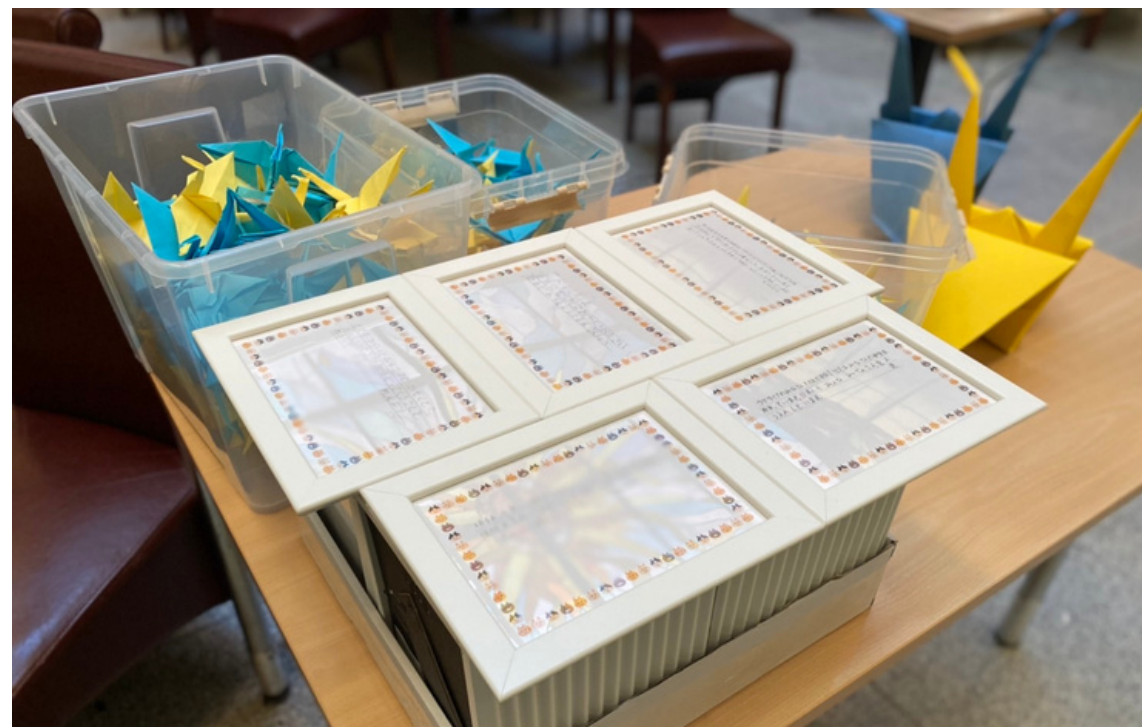
CEREMONY

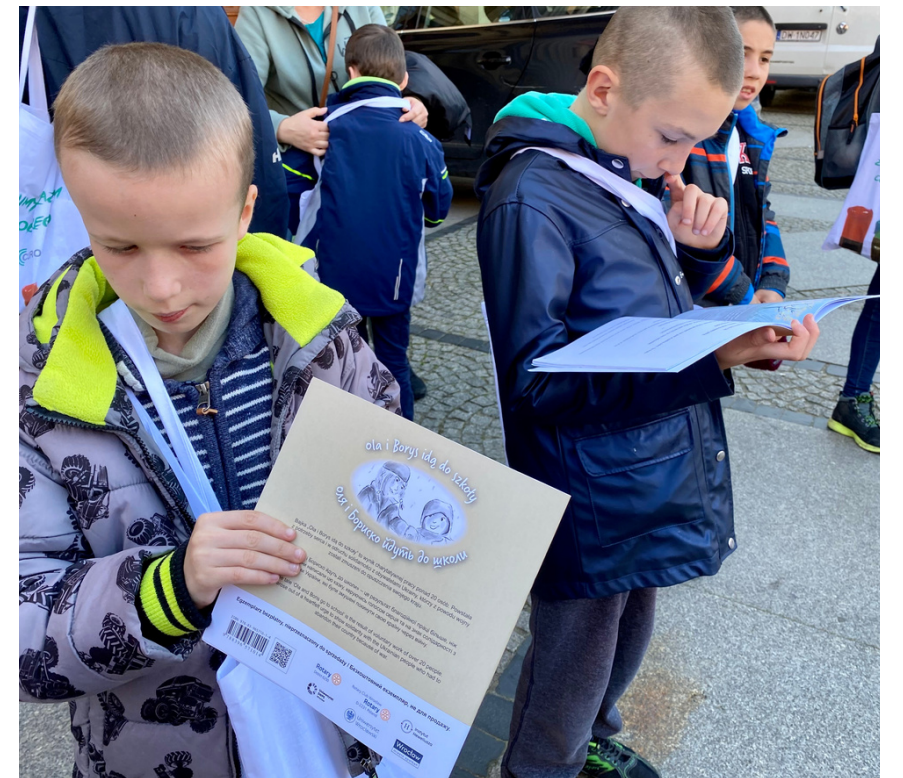
10月13日 セレモニー in ブロツワフ

PREPARATION 準備



CEREMONY PLACE セレモニー会場





ACTIVITY
アクティビティ

ゆいなさんの送ったビデオレター



VISIT JUNIOR HIGH SCHOOL

荒砥中学校への訪問



平和の祈りを込めた、だるまと折り鶴



バックホ...
が、おいしいパンを作っ
お客さんに喜んでもらえ
店を作りたい。その一心で

国旗色の折り鶴届く

ウクライナ避難の子どもたちから
前橋荒砥中、手紙のお礼に

戦火のウクライナからポ
ーランドに避難して養護施
設で病と闘う子どもたちを
支援する同国ウロツワフ・
ロータリークラブのヘンリ
ック・カリノフスキーさん
(37)らが14日、前橋荒砥中
(斎藤明校長)に青と黄の
折り鶴を届けた。生徒が励
ました手紙を送り、受け取
った現地の子どもがお礼に
作った。生徒が鶴を作り足
し、再度贈って交流するこ
とも考えている。

一行は、ウクライナの首
都キーウ(キエフ)市街地
を望む橋が渡った翌日に爆
破されたことや、ドイツに
も戦禍を記憶するモニュメ
ントがあることを紹介。ポ
ーランドが最大の避難先
で、子どもが過半数を上め、
物資が足りていないと伝え
た。

勝利できる
力を込める。
(大楽和範)

隊員として活動するロシア
出身のフォードロフ・パー

えもなく半年以上じつとし
ていた子どもたち。表情を
和らげるまで2時間以上か
かったという。「私には子
どもの笑顔が最大のギフト
だった」と話した。

ロシア国民も被害を知れ
ば侵攻に反対だろうと推測
し、「皆さんも近隣でいい
ので外国を訪ねてみてほし

過去にカリノフスキーさ
んがホームステイした家族
の孫が在校している縁で交
流が実現した。生徒側は学
校生活を写真で紹介し、平
和を祈って合唱と高崎だる
まを贈った。(高野聡)

来春の花粉 41%増予想

ウエザーニューズ
県内の飛散量

気象情報会社のウエザ
ーニューズ(千葉市)は来
年の花粉の飛散量について
本県では今春に比べ41%
増、平年比13%それぞれ増え
との第2回予想を発表
した。予想量は第1回と変
っていない。シーズン入
りは2月上旬、終了は5月
旬を見込

ウクライナで病と闘う子どもが作った折り鶴を
示すカリノフスキーさん(左から2人目)



日本大使館訪問 2023年5月

ワルシャワ旅行

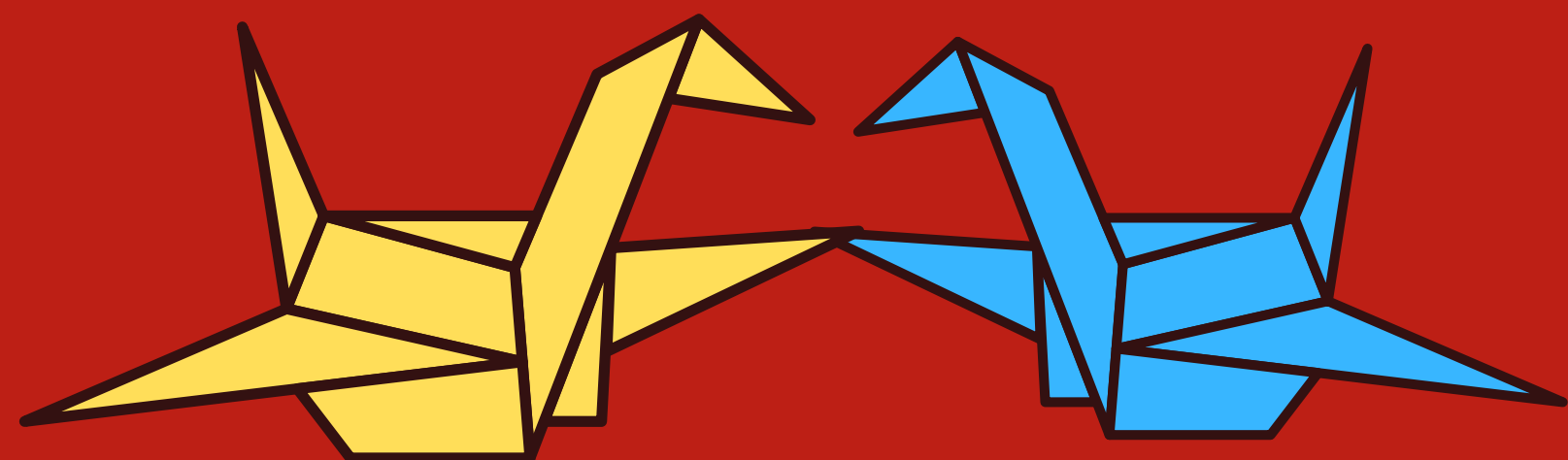


Yuina Project

将来のビジョン

ウクライナの子供からメッセージ





CREATE HOPE
in the WORLD